

優秀賞

○設計者

中本太郎、矢野雅規

- 東京建築士会
- (株)日建設
設計部門 中本設計部



(左より、中本、矢野)

○研修施設(教育目的)

明治神宮外苑研修棟

- 東京都港区

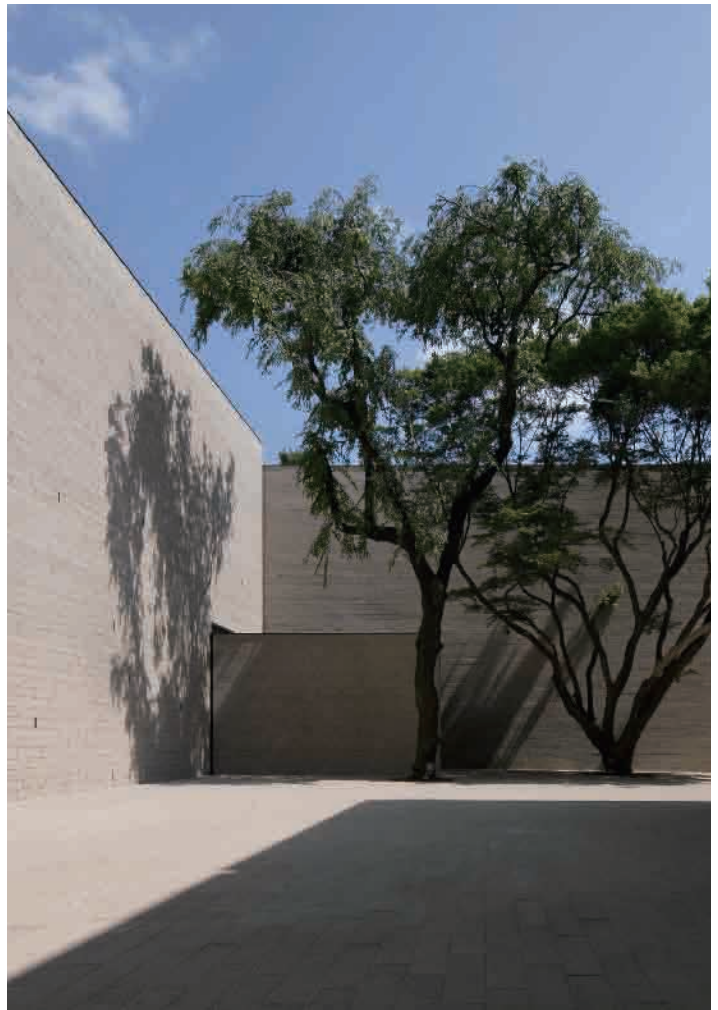
▶▶▶ 選評

明治神宮外苑の森の中の建築である。設計者は勇み立ったであろう。何故なら、歴史的背景、しかも大都市の中心に強い意志で残された自然の中に求められた建築である。設計者は求めても得られぬ如きの条件に、じつに抑制されたデザインで立ち向かった。抑制させたのは明治神宮外苑の森の力であり、近代東京の歴史の力である。建築の大きさがじつに良い。大き過ぎず、小さくもない。この建築の大きさそのものは近代建築の初心とも言うべきであろう。

その大きさに対応した化粧コンクリートブロックのこれまた抑制された装飾性が新鮮でもある。この装飾性、商業主義の性格とは異なる、建築が本来的に対立せねばならぬ自然との調和を旨とする考えは重要である。

随所に見られる鉄とガラスによるディテールへの偏執も、大事に保存された樹木の風姿、そして森の力があればこそその力であり、それもまた良く抑制されている。ただ教室のデザインに投じられたであろうエネルギーと中庭部に面した通路、ロビーのデザインに投じられたそれとのギャップが少なからぬ矛盾として目に映った。しかし、佳品である。

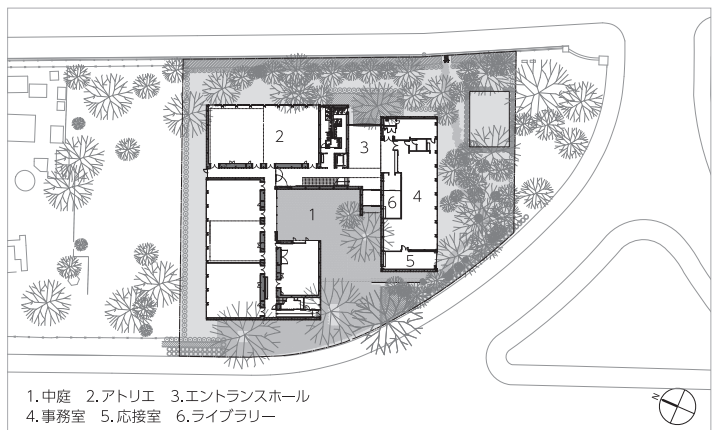
(石山修武)



A



B



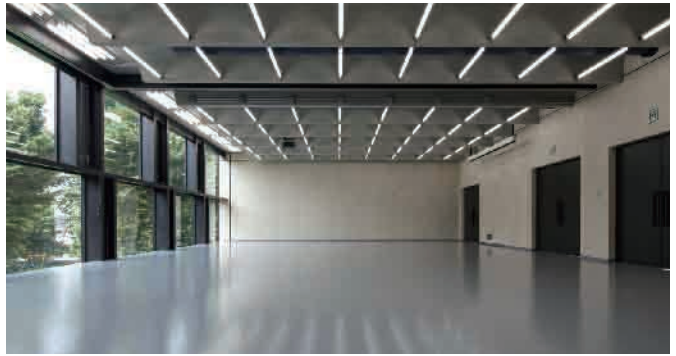
全体配置図・1階平面図



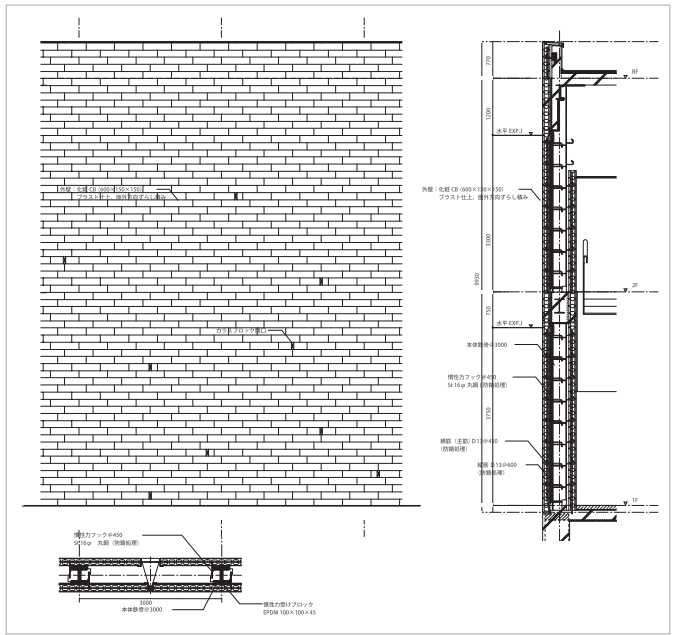
C



E



F



断面詳細図



G

写真撮影：平井広行



D

A：中庭 B：アプローチ外観。「樹木を切らない」ことから配置計画は決定された
C：鉄とガラスで構成された採光面 D：階段。素材に鉄を用いて浮かせている
E：2階廊下から中庭を見る F：アトリ内観
G：化粧コンクリートブロックの壁に設けられたガラスブロック開口

- 構造・階数：鉄骨造、地上2階建
- 敷地面積：4,102.16㎡ ● 建築面積：1,619.43㎡
- 延床面積：3,124.65㎡ ● 竣工：平成22年6月30日